

# 足立健康友の会 かばら支部ニュース

第67号

2014年2月20日  
電話 3605-5594  
http://kabara-tomo  
nokai.kenwa.or.jp/  
mail:kabarashibu@ahoo.co.jp

都知事選挙で宇都宮さん大健闘！

「社会保障の充実」を求め

友の会の輪を大きく広げましょう

猪瀬前都知事の裏献金が明らかになり、2月9日投票の都知事選挙が行われました。私たちが推薦し支持した宇都宮健児さんは982,594票を獲得

しましたが、善戦及ばず2位になり、元厚生労働大臣の舛添要一氏が新都知事に選ばれました。この選挙期間中に奮闘された職員皆さん、役員皆さん、会員のみなさんに感謝いたします。

今回の選挙ではTVが異常なほど舛添氏対細川氏を放映し、小泉元首相の演技過剰な場面を流し続け、都民の暮らしを都民目線で語られることが少ない選挙戦になりました。本来なら候補者同士で同じ土俵に上がり正々堂々とした政策論争が必要でしたが、公開討論・TV討論会など16回も他候



その人らしく

旧子ども家庭支援センター跡に特養ホーム又は看護・介護複合施設を求める署名  
蒲原診療所ロビーに用意してあります。ご署名にご協力下さい。 役員会より

かばら支部3役会議  
蒲原診療所は昨年、開設50周年を迎えました。記念誌にも書かせていただきましたが、50周年式典準備の過程で、いろいろとお話を聞く中で、開設から今まで

は総務・共済と後方事務時代が長く、蒲原診療所へのお話しがあつた時は、何故50歳過ぎて診療所の事務長だろうと思ったものです。  
蒲原診療所前任事務長の健康状態の問題と私が担当していた共済の後任者不在により、業務を引き継ぐことができず、4カ月



## 新事務長の就任あいさつ 若松弘正さん

一月二十一日付で事務長代理となりました。それ以前は医学生担当やみさと健和病院の組織課などを経て、一年半ほど蒲原診療所で医事課として勤務をしてきました。定期的に通院されている患者さんのお顔はだいぶ覚えてきたと思うのですが、今までは診療所内の活動が主でしたので、今後はもう少し外にも目を向けて、地域の中で診療所の果たすべき役割などを、地域の方とともに考えていきたいと考えております。

とても多くの職員・地域の方の支えがあつて蒲原診療所の今日があるのだということを、とても大切なこととして感じました。現在、自公政権による庶民いじめの政治のもと、医療・介護など生活をとりまく情勢は厳しいものがあります。医療経営も厳しい時代ですが、諸先輩方や友の会ははじめ地域のみなさんが築いてきた歴史を受け継ぎ、発展させられるよう微力ながら尽力していきたいと思ひます。

## 蒲原診療所の思い出 大脇 貴美子さん

蒲原診療所の皆様、いかがお過ごしですか？  
蒲原を離れてまだ一週間足らずですが、随分時が経つてしまつたように思えます。  
私は、6年ほどみさと健和病院の外来医事課を経験し、その後

的な大雪の中で投票率が16.4%前回より下がる中でも次点の宇都宮さんが前回獲得票を上回り得票率が20%を越えたことは5人に一人が投票したことになり、宇都宮さんの政策が支持された現われだと考えます。  
選挙の結果は残念でしたが、東京新聞の世論調査に現われた都民の要求にも関心を向ける必要があります。それは舛添氏に投票した57%の人々が「社会保障の充実」を求め、「教育の拡充を求める人」が49%、「クリーンな政治を求める人」が35%いたことです。  
もし舛添氏がこの都民の願いを踏みにじることがあれば、投票した都民は許さないうでしょう。必ず舛添氏にこれらの要求を実現させるために都政への関心をもち続け、友の会として必要な運動をこれからも展開して行きたいと思ひます。友の会かばら支部の会員のみなさんのご協力をよろしくお願ひします。

蒲原診療所は昨年、開設50周年を迎えました。記念誌にも書かせていただきましたが、50周年式典準備の過程で、いろいろとお話を聞く中で、開設から今まで

は二足のわらじを履いていまし  
た。

蒲原の仕事が終わると本部へ行っ  
て共済の仕事をし、休日も出勤  
する状態で、今考えるとよくやつ  
たもの  
だと思  
います。



また、  
赴任々々  
医事課  
金庫の盗難事件が発生し、その  
時の嶺岸さんの援助はとてもあ  
りがたかったです。

食堂にはいつもお菓子が溢れて  
いて、高先生から、「蒲原部屋」  
とって蒲原に来るとみんな太  
るんだという話を聞きました  
中には、食堂に寄ってお茶して  
帰る友の会役員さんいらっしゃ  
いました。それほど潤沢な食糧  
事情でした。

一方医療状況は年々厳しさを増  
し、東京民医連加盟院所でも患  
者件数減が言われている中で、  
蒲原診療所は、日曜午前診療、  
金曜日夜間診療、小児科閉診な  
ど診療日数を減らしながらも患  
者件数をキープしてきました。

職員が患者さんの目線がかかり  
やすく親切な診療所にしたいと  
いう思いで問題点を話し合い改  
善してきたこと、友の会役員さ  
んが私利私欲なく自らの診療所  
として献身的に保健活動などに  
取り組んで下さり、共同組織の

拡大数も毎年目標達成する快挙  
を続けていることが蒲原診療所  
の屋台骨になっていると思いま  
す。

「健康まつり」に見られる蒲原  
グループ職員、地域・団体の協  
力体制に象徴されています。

今後も蒲原診療所は、地域の医  
療機関として、患者さんの求め  
ている事をどこまでお手伝いで  
できるかを常に心がけて、心の  
通った医療を提供していつてい  
ただきたいと思えます。

最後に、蒲原診療所で勤務でき  
た事に感謝しています。つらい  
時も患者さんとの会話に随分救っ  
ていただき多くさんの事を学ば  
せて頂きました。ありがとうございました。  
職員・友の会役員さん・患者さん  
のご多幸をお祈りしています。



全国民医連からの支援



支援物資の支給

れました。

この集会のテーマは友の会  
各支部と病院・診療所が友の会  
会員拡大にどのように取り組ん  
だかの報告でしたが、  
首都直下型大地震の発生が予想  
される中、記念講演とし  
て宮城県塩竈市の坂総合  
病院友の会の事務局長の  
佐藤久さんから東日本大  
地震・大津波で同病院と  
友の会がどのように被災  
者救援を行ったか、次の  
とおり詳細にお話いた  
きました。

\*\*\*\*\*

坂総合病院は百年前の  
1912年に設立され、  
1953年の全国民医連  
結成に参加。塩釜市を中  
心とする二市三町の中核  
病院で、働くものの立場  
に立ち、憲法の社会保障  
権を実現すべく、医療実践を展  
開しています。宮城県内に15

去る2月  
1日(土)  
に千住介護  
福祉専門学  
校講堂にお  
いて「足立  
健康友の会・  
組織強化月  
間」の第2  
回学習交流  
集会が行わ  
れた。



仮設住宅にて健康相談会

か所ある災  
害拠点病院  
のひとつで  
もありません。  
同友の会  
は会員数約  
1万1千人  
13プロッ  
クに分かれ  
足立健康友  
の会と同様  
機関紙発行、健康講座、班会、  
各種サークルに取り組んでいま  
す。

東日本大地震が発生したとき、  
病院は地震発生後わずか3分  
災害モードを発動。その2分後  
には災害対策本部を設置  
更に7分後にはトリアー  
ジポストが構築されまし  
た。

病院新病棟は耐震性と自  
家発電を有していたため  
次々に搬入される救急患  
者をトリアージ(傷病の  
軽重に合わせて選別)で  
きました。また、全国民  
医連から医師、看護師が  
続々と支援にかけつけ2  
60名からなるセンター  
が開設。この人たちが整  
然と行動、診療・治療の  
最前線を担いました。避  
難所では、震災3日後に  
医療支援チームが活動を開始し  
ました。

## 大震災現地の友の会 から学ぶ 足立・学習会

\*\*\*\*\*

この体制が功を奏して2か月後  
には被災者救援の初期対応を終  
えました。

友の会は、震災発生直後は自助  
で精いっぱい。少し落ち着いた  
後に、徒歩で会員さんのお宅を  
訪問したり、支援者の方々を避  
難所に誘導したりしました。地  
域で日頃使っていた場所が使え  
ず、集会所を借りて折込みをし  
ました。班会の開始は約1年後  
となりました。仮設住宅への訪  
問はさらにその3か月後でそれ  
は現在も続いており、健康相談  
会や入居者の健康管理・情報交  
換などを行っています。

また、仮設住宅地域への循環バ  
ス運行や光熱費助成に向け行政  
への働きかけも行いました。医  
療費減免で知事と交渉も行って  
います。

\*\*\*\*\*

以上が講演内容です。大規模災  
害時、民医連と共同組織の友の  
会が組織をあ  
げて救援に取  
り組むすばら  
しさを感じま  
した。首都直  
下型地震が起  
こる確率が高  
まっている今  
私たちにどの  
ようなことができ  
るかを研究し  
ておく必要を痛感  
しています。  
(かばら支部 久保正雄)



徒歩で会員さんのお宅を訪問